



岩手県立盛岡ひがし支援学校PTA会報

no. 12

岩手県盛岡市手代森 6-10-14
岩手県立盛岡ひがし支援学校 PTA
<https://www2.iwate-ed.jp/mhi-y/>
TEL : 019-601-3691
発行日 : 令和7年3月12日

花咲く丘

夢に向かって 羽ばたいていこう





令和6年度を 振り返って

校長 黒川 圭司

令和6年度がスタートから早一年が経とうとしています。コロナ禍を経て2年目になる本格的な学校生活も順調に進み、毎日元気に登校してくる子どもたちの様子を見るにつけ、今年度も子どもたちの主体的な学習活動の風景が各学部でたくさん見られた一年だったように感じています。

今年度も本校のPTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。継続して取り組んできた進路にかかわる学習会や見学会、給食試食会などの活動の他に、茶話会の実施や充実感を味わった学部レクの取り組みなど、互いの距離感が縮まるような交流活動が加わり、一歩二歩と着実に前進しているなど感じる場面が多くみられました。

PTA活動は、時に消極的になってしまうケースが見られる時もありますが、小さな目標を立て、目標に向かって取り組むことで得られる小さな成果の積み上げが大きな結果に代わっていくことを実感しました。あらためて保護者の方々の積極的な姿勢と活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、今年干支は巳年ですが、成長するために脱皮を繰り返すヘビにあやかって、成長と変革の年などと言われることが多いです。加えて、巳(み)を実(み)に関連付けて、「実を結ぶ年」とも言われているようですので、新年度に向けても、今年度の実績を糧にして、さらにたくさんの活動の「実」が結実していくことを期待したいところです。

新年度も充実したPTA活動が展開されますよう、皆様のご協力とご支援を引き続きお願い申し上げます。



PTA会長挨拶

PTA会長 鷹背 正輝

保護者の皆さま、先生方、今年度もPTA活動にご協力頂き、誠にありがとうございました。

今年度は、小学部で初めて親子レクリエーションを実施してみました。これは、小学部の保護者から出てきた提案でしたが、先生方のご協力もあって実現する事が出来ました。「何かをやってみたい。」と思っても、「本当に出来るのか?」と考えてしまい、行動自体を思いとどまってしまうのが普通だと思います。親子レクリエーション当日、私も参加させていただきましたが、実行委員会の方々が中心となって、とても楽しい親子レクリエーションとなり、親子揃っての笑顔を見ることが出来て、私にとっても、大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今後、継続して親子レクリエーションを行っていくかどうかは分かりませんが、今回は保護者の方々からの提案を実現する事が出来たということで、PTAの活動として大きな一歩を踏み出すことが出来たと思っています。大事な事は、自分達でどのような活動を行いたいかを考え、動き出してみることだと思います。動き出した結果、目指しているものと違っていたとしても、目指している方向に対してその都度修正を行っていけば、自分達が目指しているものに近づいていくはずです。

今回は小学部の親子レクリエーションの話をさせてもらいましたが、中学部・高等部そして、学校全体としても「何かをやってみよう。」「どのようにやってみようか?」という発想で、PTA活動を行っていけたらと思います。まだまだ歴史としては浅い盛岡ひがし支援学校のPTA活動ではありますが、来年度はどのような活動が行われるか、今から楽しみです。

PTA事業部

PTA研修会

事業部長 下川原秋子

今回初めての試みとして、グループホーム6事業所の方々をお招きして研修会を開催しました。前半はそれぞれのグループホームの方から特徴や一日の流れ、年間行事、利用定員、利用料金の目安などを具体的に詳しく教えていただきました。さらに後半は、保護者それぞれが自由に事業所のコーナーを回ってお話を伺うこともできました。我が子は小学部なのでまだ早いと思いますが、卒業後の生活について考える良い機会となりました。

PTA事業部

給食試食会及び座談会

事業部長 浮島麻美

子どもから「おいしくっておなか一杯になる給食だよ」と言われていたので、楽しみにしていました。食べてみて、確かに味噌汁やしらす和えもとても食べやすい味付けでしたし、ご飯の量も割と多いなど感じ大満足でした。試食しながら、調理場の様子を映像で見せていただき、手順がとても細かく丁寧なことに驚きました。座談会では、栄養教諭の佐藤先生や参加された保護者さんのお話、アドバイスをとても勉強になりました。調理をしてくださっている方々、給食指導をしてくださっている先生方に改めて感謝したいと思いました。

ひがしの日

11月2日(土)に、本校の一大行事である「ひがしの日」を開催しました。小学部は、毎日の学習で取り組んでいる合唱、合奏、ダンスなどの音楽の発表会を行いました。ステージの上や観客の皆さんの前で、緊張しながらもそれぞれの学年らしさを発揮して、堂々と発表ができました。



中学部は、作業製品販売会を中心に、美術作品の展示や、総合的な学習の時間の学習成果、修学旅行新聞、校外学習のまとめなどを掲示発表しました。

木工班とクラフト班のそれぞれの販売会場では、自分たちが作った製品をお客様にお買い上げいただくうれしさを味わいながら、呼び込みや会計、製品の運搬を頑張りました。

ひがしの日



手芸班

縫製室で行われた販売は、布バッグやモップなどを次々買い求める人たちで廊下に人があふれるほどの大盛況でした。季節先取りで販売したリースなどのクリスマス商品もすぐになくなり、この日の手芸班の商品は完売でした。



食品加工班

高等部食品加工班では、ひがしパンをはじめ、地域にある石橋農園さんのりんごを使った「りんごちゃん」など、様々なパンを作って販売しました。たくさんのお客様に買っていただき、「おいしい」と喜んでもらえて、嬉しかったです。



農耕環境班

農耕環境班では、さつまいも、ジャガイモ、二十日だいこん、チンゲン菜、小松菜からし菜を販売しました。たくさんのお客様に、生徒が一生懸命に収穫した作物をお買い上げいただき、おかげさまで完売しました。また来年もよろしく願います。



木工班

高等部木工班では、「折り畳みテーブル」「スパイスラック」「キーフックスタンド」などを販売しました。たくさんのお客様に、生徒が一生懸命に制作した製品をお買い上げいただき、販売会終了後は全員がとても充実した笑顔を見せてくれました。



陶芸班

陶芸班は、計量、つぶし、伸ばし、成型と工程ごとに分業で皿や小物を製作し、販売しました。当日は、新作のさんさ皿があっという間に完売しました。今後もアイデア会議を経て新作を販売する予定ですので、楽しみにしてください。



祝卒業

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。最高学年として様々な場面で活躍し、小学部を引っ張ってくれた姿はとても頼もしかったです。小学部6年間の思い出や経験を糧に、中学部でもいろいろなことに挑戦し、充実した学校生活を送ってください。



三船 由香さん(凛さん母)

保護者あいさつ

ひがし支援学校開校と共に、大きなランドセルを背負って入学した6年前。あんなに小さくて可愛らしかった娘とお友達。今ではランドセルが小さく見えるくらい大きくなり、心もたくましく成長してくれました。

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます！みなさんの笑顔が私達には最高のプレゼントです。

そして先生方、保護者の皆様、6年間共に歩んで頂き本当にありがとうございました。中学部でも沢山の思い出を作っていくましようね。

柏谷 由美子さん(建さん母)

この6年間はあっという間に過ぎたように思います。ひがし支援学校が開校して初めての1年生で不安でいっぱいだったのを覚えています。こだわりの強い子で初めての環境になじめるのか毎日送る車の中で「今日は先生を困らせないでね。お友達と仲良くしてね。」と話していました。言葉を発しない子なので先生からの連絡帳が毎日の様子を知る術でした。丁寧に先生方が連絡帳を書いてくださり、学校の様子を知る事が出来てすごく感謝しております。よく出来た事であれば、今日は荒れた一日だったのかと凹んでしまうこともありましたが、それでも嫌がらず、学校の準備をする息子は学校が大好きだったと思います。少しずつ、出来る事も増え、今では私の背丈を超える位に大きくなりました。よく頑張ったねと褒めてあげたいです。それも周りのお友達と先生方の支えや見守って頂いたおかげです。ありがとうございます。中学生になっても色々な経験をして一緒に頑張ろうね。

祝卒業

4月に3年生になったうれしさをパワーに変えて1年間過ごしてきましたね。日々の学習にしっかりと取り組み、着実に力を付けてきました。4月からは、それぞれの道で、さらに力をつけていくことを願っています。



保護者あいさつ

竹田 かほるさん(悠希さん母)

卒業本当におめでとう！中学部3年間、勉強や作業学習など、色々頑張ったね。先生に怒られる事も沢山あったと思うけど、上手に自分の気持ちや伝わりない事への不満をストレートにぶつけていたんじゃないかと思います。この3年間持病を抱え、沢山の薬を服薬して眠気に襲われる中で、頑張って登校した事、本当に立派だったと思います。私達が想像している以上に、一歩ずつ成長してくれていることを信じています。

校長先生はじめ、諸先生方、今まで温かく見守って下さりありがとうございました。

高橋 あかねさん(星夜さん母)

小学校は支援学級に通い、中学部からお世話になりました。支援学校って、温かいですね。日常生活や将来的に必要なことをたくさん学ぶことができ、実り多き3年間でした。

春からは親元を離れて暮らすことになりましたが、きっと、この選択をして良かったねと自信を持って卒業できるような、ひと回りもふた回りも大きくなってくれることでしょう。これからも一つひとつ、一緒に乗り越えていこうね。卒業おめでとう。

祝卒業

第4回卒業生となる11名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。好成績を残したTRYスポーツ、最高売上となったひがしの日の販売会など、ここぞというときに力を発揮して高等部を盛り上げてくれました。皆さんの更なる飛躍を、心より応援しています。



菅野まりさん(悠誠さん母)

保護者あいさつ

田中佳裕さん(篤実さん父)

盛岡ひがし支援学校が新設されてから、中学部と高等部とお世話になり、あつという間に6年がすぎ卒業を迎えました。心配ばかりの毎日でしたが、先生方、お友達、デイの方々、保護者の方々、地域の方々、沢山の方々に支えて頂きました。

中学部では、生徒会長という大役を任せていただき良い経験になったと思います。

「ひがしの日」では、農耕環境班、木工班、食品加工班と沢山の作業を経験し自分たちで作った製品を買い上げたいただける喜びや味わい、達成感で、とても良い表情を

しながら接客しているのを見ているとこちらまで嬉しくなりました。

先生方のご指導のおかげで悠誠は、大きく成長しました。心から感謝しています。この学校で学んだ事を忘れずに、4月からは、新たな環境で頑張ってほしいです。沢山の思い出を作ってくださいありがとうございます。

小・中学校と小人数の支援学級で育った篤美は、友達とのコミュニケーションが苦手でした。入学した頃の友達とぶつかることも多かったのですが、先生方は粘り強く向き合い、指導して下さいました。失礼なものの言いも多かったです。失礼なものをいいと見つけたようですが、いいところを見つけては褒めてくださり、今では人との距離もうまくとれるようになりました。

親以上に寄り添って育てて下さった3年間、感謝感謝です。ありがとうございました。

編輯後記

あつという間に3月発行を迎えました。子ども達の色々な顔が垣間見れたでしょうか？ 学校で頑張っている姿、友達と過ごしている時の顔、心が不安定な時もあり、サポートは本当に大変かと思えます。子ども達に携わって下さる皆さんに感謝の想いです。ありがとうございます。

寝顔を見てホッコリ。明日も頑張れそうですよ。一年間ありがとうございました。

(PTA 広報部長 及川千絵)